

熊本の観光を、県外にいる人たちの目から見た場合はどうなのでしょう。編集部では、最近熊本を訪れた有名人あて次のようなアンケートをお願いしてみました。

「観光アンケート」

- ① 熊本の感じを色であらわすとしたらどんな色でしょうか。
- ② 熊本人の人柄についてどう思われますか。
- ③ 熊本の観光地で、特に印象に残ったところは。
- ④ 熊本の旅館や観光施設などについてお気づきの点は。
- ⑤ そのほか、熊本の観光についてご希望、ご意見があればひとこと。

△右のアンケートに対する回答▽

注・イロハ順

- ① みどり色（緑の都熊本を象徴）
（東京ガスKK社 敏本 田弘 敏）
- ② 正直で頑固。
- ③ 阿蘇高原の大景観。
- ④ 旅館も観光施設も未だしの感。千客万来をめざして、もっと立派な旅館と施設をつくりサービス本位に。
- ⑤ 観光地の道路の改善。

- ③ ありのままでいいと思います。水前寺が何となく、さびれたという気がします。
- ④ 熊本の材料をいかした、熊本料理がないのが残念です。
- ⑤ 接客業の人がもう少し丁寧であってほしいと思います。

堅山南風
（日本画家）

- ① みどり。
- ② 正直で朴直。狷介人を容れずと聞くもあるが、どうであろうか。
- ③ 阿蘇を第一とする。菊池水源西山のコース。就中、市中清洲の水湧く、是は天下の珍である。是は絶対に汚してはいけない。
- ④ 熊本の旅館にはあまり宿泊しないので、よく判らない。観光施設はよくなっていると思うが、まだ充分でないと思う。
- ⑤ 道路の整備が第一だと思う。熊本城の周辺を損傷しないこと。稀有なる清泉資源を善用すべきだと思う。美術館をせひ設けること。

唐島基智三
（政治評論家）

- ① 緑。
- ② あっさりしてますね。
- ③ 阿蘇山しか知りません。
- ④ キャッスルのフロントは大変親切だが、ルームサービスは感心しない

高橋義孝
（九大教授）

国際観光年とは

国の平和と、心のやわらぎをささえる柱ともなる観光を育て盛んにするため、世界の各国が協力しあおう。ことに国民が外国に行きやすく、外国人が日本に入りやすくするため、国境を除いていこう。互いに知識を交換し、観光の勉強もしていこう。こういって目的で国連が、今年を国際観光年と指定したもので、いうなれば、今年を国際的な観光の年にしようというもの。国の行事としては、大別して (1) 観光の世界平和に果たす役割の普及宣伝 (2) 観光による国際親善の増進、(3) 外客受け入れ体制の改善、(4) 観光資源の保護と正しい観光概念の普及などを行なうことになっている。

世界一の活火山阿蘇をもつ本県は、外人観光客の来訪も近年ますます増加の傾向にあり、県でも県観光連盟とタイアップして、国際観光年事業として各種の事業を計画し、一部はすでに実

- ① 薄茶色。
- ② 重厚繊細。
- ③ 阿蘇外輪山と瀬の本高原。
- ④ 食事（和・洋）する清潔で明るい料理店が少なすぎます。
- ⑤ 阿蘇の噴火口に重点を置きすぎます。むしろその周辺と、海岸地帯の強調を。

那須良輔
（漫画家）

- ① みどり。
- ② 非常に物わかりがよくて、親切。大阿蘇。
- ③ よその観光地の旅館のまねをしないで、熊本独特のよさを発揮すること。特に食べものについて……人工的にしないこと。

観光は平和へのパスポート



国際観光年

解説

五木・五家荘一帯が新しく県立公園に

八代・球磨の両郡にまたがるいわゆる「五木・五家荘」地域を中心として、氷川流域の立神峡附近、釈迦院一帯を包含する、約三万二、〇〇〇ヘクタールの本県中南部の山地一帯が、新しい県立公園として近く指定される運びとなった。

勝地が随所に見られる。

★特色ある県立公園へ
本県には、世界的な「阿蘇」、海洋景観の勝れた「天草」の両国立公園、県民リクレーションの地域としては、山の公園の「金峰山」、「小岱山」、「市房山」海の公園の「三角大矢野海辺」、「芦北海の公園」、「矢部周辺」と、六つの地域が県立公園に指定されて、本県観光のいわば基盤となっている。

このたび新しく指定されようとしている地域は、これらとは幾分趣を異にした「森林と歴史」に代表される特色ある新しい型の県立公園として期待されるもので、以下その概要を紹介しよう。

原始林と溪谷美と

★変化にとむ山と森林
この地域は地形上、山岳、峡谷等それぞれ趣の異なる地区を包含するため、地域内の景観はまことに変化に富み、景

一層深く心に刻み込んでくれるだろう。

★雄大な展望景観
この地域には、登山に適した高

山が数多いが、けわしい山ばかりというわけではなく、山や峠に恰好の展望がひらけてまことに雄大な景観となっている。砥用／五家荘間の二本杉、河合場／椎原間の笹越峠、宮原／頭地間の大通峠、泉村和小路／小鶴間の六本杉山や子別峠、白蔵林道に沿う高塚山麓の栗木平等がそれである。

五家荘一帯はもとより九州山脈の山なみや、熊本平野をはるかに眺望できる大パノラマ台として、自動車旅行者や家族向の観光客にもってこいの場所となっている。

★美しい溪谷群

一帯が山岳地帯であるだけに、こここの山あいには、よそでみられない溪流と溪谷が、新緑、紅葉等に彩られて、山稜のそれとは異なった美観を呈し、地域の景観に一段とバラエティーを持たして

「樺木の溪谷にかかるつり橋」

